

令和5年
第1号

小島すすむ通信

発行元 小島すすむ後援会
発行責任者／佐藤 恵美子

小島すすむ後援会連絡先
新潟市秋葉区南町9-1
TEL 0250-25-3400
FAX 0250-25-3400
info@kojima-susumu.jp



小島すすむを励まそう
と、2月12日、金津コ
センで大集会を開催し、
約180人の支持者に駆
けつけていただきました。
佐藤恵美子後援会長、
片岡実選対委員長の主催
者あいさつに始まり、連
合新潟・牧野会長、新津
商工会議所・前田会頭、
菊田まさこ衆議院議員、

小島すすむを励ます総決起集会



打越さくら参議院議員、
亀田製菓株式会社総務
部・八木MG、UAゼン
セン新潟県支部・飛田支
部長から激励のあいさつ
をいただきました。



UAゼンセン県支部
飛田支部長



亀田製菓株式会社
八木MG



打越さくら
参議院議員



菊田まさこ
衆議院議員



新津商工会議所
前田会頭



連合新潟
牧野会長



Facebook



公式サイト



Instagram



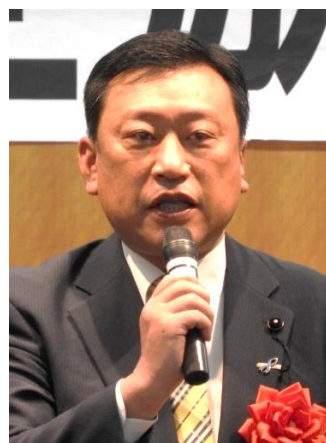
Twitter

※1県民所得…総人口で割ったもので、個人の給与水準を表すものではなく、企業などの所得を含む県民全体の所得水準を表したものです。

儲かる新潟県をつくり、雇用の創出と都会には無い住宅・子育て・生活環境をプラスすることでUターン・イターンで選ばれる「安心して働き暮らせる新潟県」をめざします。

新潟県の大きな課題は人口減少であるが、改善の特効薬はなくUターン、子育て応援等あらゆる分野で政策の総動員が必要である。人口減少に対応した持続可能な新潟県とするためには、全国平均より低い1県民所得アップが必要で、儲かる新潟県としなければならない。そのためには6次産業化をすすめる付加価値向上を図ることが重要だ。そして、中小企業が多い新潟県は商品開発に向け、産学官のさらなる連携強化が求められる。

小島すすむ 決意表明



NEXT にいがた 希望と安心の 新潟県づくり まち

①安心・安全に暮らせる まちづくり

- 1) 高齢者福祉施設の整備充実や、見守りネットワークの設置支援、デマンド交通整備、買い物弱者対策など住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりをおこないます。
- 2) 防災・減災対策では、ハード面の整備はもとより、携帯・スマートフォンを活用したたソフト面の整備もすすめ安心・安全に暮らせるまちづくりをおこないます。

②安心して働ける まちづくり

- 1) ものづくり立県として中小企業、新産業創造の支援と農業、花卉・園芸産業を振興し雇用の創出に取り組みます。
- 2) 新潟県の総実労働時間の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進、子ども子育て支援の充実で多様な就業形態で働く人を支援し、育児と仕事の両立ができるよう環境整備をおこないます。

③持続可能な まちづくり

- 1) 本県の人口減少の大きな課題である社会減少に歯止めを掛けるべく、Uターン学生および経験者等の就職支援事業の拡充などUターン政策に取り組めます。
- 2) ポストコロナに向け、日本海拠点港として港湾整備と空港路線を拡充し、物流拠点、観光振興に取り組み地域活性化をすすめます。

小島すすむさんへのメッセージ



衆議院議員
菊田 まきこ

長引くコロナ禍、急激な円安と物価高、30年間働く人の賃金が上がらず、若者や女性、高齢者など生活困窮者が増えています。命と暮らしを守り、未来に責任をもつ政治の実現に向け、3期目も堂々と県政の壇上で活躍されることを願います。

定例会本会議



Uターン対策の拡充による人口減少ワークライフバランス、カスマーハラスメント対策など働きやすい環境や、新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」の登録者の拡大、機能強化による防災・減災対策にも取り組みました。

常任委員会



委員会は新潟県の基幹産業である産業・労働・観光・農業・林業・漁業・農地を所管し、新潟県の総実労働時間の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進など仕事と子育ての両立や、農林水産業の6次産業化、担い手政策にも取り組みました。

県政報告会



県政を身近に感じていただけたよう各地区において県政報告会を開催し、県政・県議会・自身の活動報告を行いました。今後とも報告を開催致しますのでご参加をお願い致します。